



2018年5月21日
JR東日本秋田支社

「男鹿駅」が環境にやさしい駅として新たに生まれ変わります

JR秋田支社では、男鹿駅南側用地にて建設が進められている男鹿市複合観光施設(オガーレ)の整備にあわせて、地域と連携した駅周辺の活性化を推進することや、駅舎を終点側(南側)に移転する事で、スムーズに乗降ができ、安全とサービスの向上が図られることから、男鹿駅の整備を進めており、このたび2018年7月1日に新駅舎で新たに営業を開始することになりました。また、JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなどさまざまな環境保全技術を導入する取組みとして環境にやさしい駅「エコステ」モデル駅の整備を推進しています。新しい男鹿駅につきましても「エコステ」モデル駅として新たに生まれ変わります。

1 新男鹿駅舎概要

(1) 建物規模

約283㎡(観光案内所含む)

(2) 駅設備等

出改札窓口、自動券売機、駅事務室、多目的トイレ、待合室、観光案内所

(3) デザインコンセプト

屋上テラスのある駅「寒風山を眺望できるパノラマビュー」

2 男鹿駅「エコステ」モデル駅概要

新設する男鹿駅は「創エネ」・「省エネ」・「エコ実感」・「環境調和」の4つを柱として掲げ、「エコステ」モデル駅として整備します。(別紙)

男鹿の豊富な風力を利用した小型風力発電により駅設備等へのエネルギー供給を実施し、特に冬季には駅舎の電力量を全て賅うことを目指し、CO₂排出量削減を行います。

3 新駅舎及び「エコステ」モデル駅使用開始日

2018年7月1日(日)

《参考》

JR 東日本「エコステ」4つの柱

【創エネ】再生可能エネルギーの積極的な導入

【省エネ】一歩進んだ省エネルギー化の推進

【エコ実感】お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備

【環境調和】人と環境との調和による活気の創出

【エコメニュー】

1 小形風力発電設備 【創エネ】

(1) 小形風力発電機・蓄電池

創エネエリアに 9 基の小形風力発電機を設置し、駅で使用する電力を賄うとともに、一部の電力を交流蓄電池駆動電車「ACCUM」の運行に使用します。



2 駅施設

【省エネ】

- (1) 自然採光
- (2) 空気循環
- (3) 日射遮蔽
- (4) 屋根遮熱効果
- (5) LED照明
- (6) 節水型トイレ

【エコ実感】

- (1) エコ表示モニター
- (2) 屋上テラス

【環境調和】

男鹿石、県産木材を使用

